

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所 きらら館ひろき			
○保護者評価実施期間	令和7年2月10日 ～ 令和7年2月20日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数)	14名
○従業者評価実施期間	令和7年2月1日 ～ 令和7年2月10日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数)	3名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月21日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	体験活動の充実	・公共施設での過ごし方やマナーを学ぶため、車に乗る機会を作ったり、公園で活動を行ったりしている。 ・年長児は公共交通機関を使用しての外出活動も行っている。	・引き続き、社会体験活動として、公共施設や公共交通機関を利用する機会を設ける。 ・収穫体験を実施する。また、収穫後のクッキング活動や、法人イベントでの出店なども行っていく。
2	子どもたち一人ひとりに合った支援の提供	・年齢ごとではなく、子どもたちの段階に合わせたグループ編成を行っている。 ・小集団での活動に加え、個別療育の時間を設けている。	・季節の行事等、活動内容によっては、全グループ合同など、少し人数の多い環境で過ごす時間も設けていく。
3	ファミリーサロンの実施	・親子で一緒に活動を行ったり、子どもたちの活動の様子を見ていただく機会として、ファミリーサロンを開催した。 ・茶話会を通し、保護者同士が相談し合える場を設けている。	・保護者向けに希望する活動内容のアンケートを実施し、ニーズに合わせた活動を取り入れていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流や連携	・地域に向けて発信する機会が少ない。 ・コロナ禍により交流を控えていたが、5類に引き下がった後、再度交流の場を設けるなど、体制の整備が不十分であった。	・法人のイベント時に、地域の方にもお越しいただけるよう発信していく。 ・児童館を利用したり、法人内の保育園と一緒に活動を行ったりする機会を設ける。
2	保育園や幼稚園に送迎を行っているお子様の保護者の方と直接会って話をする機会が少ない	・連絡アプリにて活動の様子をお伝えしているが、保育園やこども園に送迎を行っている子どもの保護者と直接会って話す機会が少ない。 ・親子活動を実施したが、家庭により参加率に差がある。また、併行通園先の園行事等の関係で受け入れ時間が変更になるなど、期間の設定が難しかった。	・半年に1回の面談だけでなく、ファミリーサロンや療育参観等を開催することで、直接会って情報交換を行う機会を増やしていく。 ・療育参観を実施し、子どもの様子や支援内容を知る機会を作ることや、気軽に越えしいただけるような雰囲気作りを行っていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日 令和7年2月28日					利用児童数 15名		回収数 14名	
事業所名		公表日 令和7年2月28日					利用児童数 15名		回収数 14名	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見		ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	0	0	0			・子どもの様子や活動内容に応じて、環境構成への配慮を引き続き行っていく。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	14	0	0	0			・年度初めの行事の際に職員数や名前を伝えるようにしている。今後も年度初めや保護者会の場、個別で分かりやすく伝えるようにしていく。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	0	0	0			・子どもの段階を考慮した上で、行動のしやすさ、分かりやすさに繋がるようバーデーションで環境を区切ったり、視覚支援を取り入れたり、個々の段階や状況に適した配慮を行っていく。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14	0	0	0			・清潔な空間で安心して過ごす事ができるよう引き続き配慮を行っていく。	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14	0	0	0			・保護者や併行通園先と子どもの好きなことや課題等についての情報交換を行い、1人ひとりの段階に沿った支援を実施していく。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14	0	0	0			・事業所の様子や支援内容が保護者の方に分かりやすく伝わるよう、状況に応じて支援プログラムの内容を変更していく。	
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14	0	0	0			・アセスメントを実施し、保護者と共通理解を図りながら、ニーズや課題の分析、児童発達支援計画の作成を行っていく。	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14	0	0	0			・児童発達支援ガイドラインに沿って、引き続き、個々の発達段階や課題、目標に応じた支援内容を設定していく。	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14	0	0	0			・支援内容や子どもの現状等について、分かりやすく伝わるよう、丁寧に説明を行っていく。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	0	0	0			・子どもたちが楽しみながら、様々な経験、体験を積み重ねることができるよう、全職員で活動内容を考慮し、実施していく。また、個々の段階に合った活動内容や対応方法を行っていく。	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	11	0	0	3	・保育園が併設されている。 ・近くの公園へお出かけしている。		・児童館の利用や近隣の保育園等との交流の機会を設けていく。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14	0	0	0			・見学時や契約時に運営規定、活動内容、利用料等について説明を行っている。分かりやすく伝わるよう、丁寧に説明をつけていく。不明な点については、その都度ご質問頂き、回答していく。また、変更点があった際は迅速に伝達するようにしていく。	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14	0	0	0			・個別支援計画について、ガイドラインの提示と共に、支援内容や目標等について具体的に説明を行い、同意を得た上で支援を実施していく。共通理解の基、支援を実施することができるよう心掛けていく。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	0	0	0	・参観日に講話の時間がある。		・外部講師を招き、講習会を実施した。今後も子どもとの遊びやかかわり方の学びに繋がるよう、家族支援を行っていく。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	13	1	0	0	・コドモンで何の活動をしたのか、子どもの様子はどうだったのか詳しく書かれている。		・面談やコドモン等を通して、日々の活動の様子や課題、体調面等について丁寧に伝え、共通理解を図っていく。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	2	0	0			・アセスメントやモニタリングの結果、コドモンを通して子どもの様子や課題、目標等の必要な情報を伝えていたが、直接伝達する機会が少なかつたように感じる。保護者からの相談や悩みについて面談やコドモンに併せて直接口頭でもその都度助言を行うようにしていく。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14	0	0	0			・保護者のニーズや思いを聞きながら、子どもの経験に繋がる活動を実施していく。また、面談や送迎時等の中で密に情報共有を行っていく。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	2	0	4	・交流会が以前あったのは知っているが、自分が参加したことはないです。 ・就学前の保護者同士での交流があった。 ・退所したきょうだい児の相談も応じてくれる。		・保護者会は毎年3月に実施している。 ・保護者同士の交流の場については、就学前の保護者同士で話す場を設けることはできたが、他のグループについては講演会や親子活動の中でやり取りを行うのみであった。今後は、茶話会や家族支援プログラムを通して、保護者同士の連携の機会を作っていく。 ・保護者会を通して、年間の計画や目標、周知事項について伝達していく。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	1	0	0			・相談等があった際は、迅速に職員間で話し合い、その都度丁寧に対応できるよう、心掛けていく。	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	1	0	0			・送迎時や面談、コドモン等を通して、子どもの様子や支援内容等の情報伝達ができるよう、配慮していく。送迎時や行事の中で直接話しができる機会も設けていく。	

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14	0	0	0		・子どもの様子や活動内容がより具体的に伝わるよう、引き続きホームページやInstagramの更新を行っていく。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14	0	0	0		・個人情報の取り扱いについて、十分な配慮を行っていく。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	0	0	1	・マニュアルが保護者に周知されていないと感じる。	・契約時の説明に加え、面談や行事の際を通してマニュアルを閲覧できるよう対応を行っていく。 ・実施の仕方についてその都度丁寧に説明や伝達を行っていく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14	0	0	0	・避難訓練の活動がある。	・年4回火事や地震、土砂災害等の場面を想定した避難訓練を実施し、訓練の様子についてコドモンやホームページにて保護者へ伝えていく。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	0	0	0		・契約時の説明に加え、面談や行事の際を通して安全を確保するための計画について説明を行っていく。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	0	0	1		・怪我等が発生した際は状況や処置内容についてコドモンや直接口頭にて説明を実施していく。また、事故が発生した場合は、保護者や関係機関（病院、園等）に速やかに連絡し、説明、対応を行っていく。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	14	0	0	0		・子どもや職員とのかかわりや活動に安心して取り組むことができるよう、子どもの気持ちに寄り添いながら支援を実施していく。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14	0	0	0	・毎日「今日は〇〇をしたよー！」と楽しく報告してくれる姿に、安心して通所できています。 ・毎日「今日はきらら館？」と聞いてきます。とても楽しみにしています。 ・活動したことを楽しそうに話す様子があります。	・子どもたちが楽しいと感じられる充実した支援となるよう個々の段階や気持ちを考慮し、活動を実施していく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	14	0	0	0	・丁寧な支援、いつもありがとうございます。安心して預けられます。	・子どもたちの経験、体験、学びにつながるよう、発達段階に沿って支援を実施し、達成感や満足感につながるようにしていく。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和7年2月28日				
児童発達支援事業所 きらら館ひろき						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・利用人数に対して、十分なスペースを確保し、支援を行っている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・職員数においては、配置基準を十分に満たしている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・安心、安全に過ごすことができるよう、配慮している。 ・写真やイラスト等の視覚的支援教材を用いながら伝えたり、パーテーションを使用して環境を区切ったりし、子どもが活動に集中できるよう、配慮している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・館内の清掃、整理整頓、清潔な環境作りに心掛けている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・きらら館ひろきは大きな部屋が1つのみであるため、子どもの気持ちが変わったり、高揚したりした際はパーテーションで環境を区切ったり、落ち着くまで過ごす場所を検討したりし、状況に合った部屋の使い方ができるようにしている。	・訓練室の中に物を置いている場所があるため、片付ける場所の検討、改善が必要である。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・業務や支援内容について、目標や反省を挙げ、その都度振り返りや見直しを行っている。また、改善点を話し合い、その後の業務や支援につながるよう、情報交換、共有している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・保護者等向け評価表を実施し、いただいたご意見を基に業務改善に取り組んでいる。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・職員会議やケース検討の中で意見を述べ合い、職員全体で把握、業務改善を行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・第三者による外部評価は実施できていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・子どもたちの活動の幅を広げることや支援の質の向上につながるよう事業所内研修、外部研修を取り入れている。また、子どもの様子や感染症、世間で頻回に起こっている事故等、現状に合わせて研修内容を検討し、実施している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・今年2月に公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・アセスメントを実施し、子どもの様子や課題、保護者のニーズを踏まえた上で、児童発達支援計画の作成を行っている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・アセスメントで保護者から聞いた子どもの様子や保護者のニーズを支援に携わる職員に伝え、目標や支援内容について検討した上で作成している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・利用開始前に児童発達支援計画についての周知を行い、支援を実施する担当職員がそれぞれの児童発達支援計画を把握した上で計画に沿った支援を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・共通したアセスメントシートを使用し、子どもの発達段階や様子、課題の把握に努めている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・児童発達支援ガイドラインのそれぞれの項目に対し、職員間で意見を挙げながら、児童発達支援計画の作成、個々の段階に沿った支援内容を検討している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・年間計画に沿って活動案を検討し、個々の段階に合ったプログラムを計画、実施している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・年間計画を基に、子どもの現状に応じて活動内容を考慮している。 ・全職員で案を出し合いながら活動案を立案し、固定化しないように工夫している。 ・子どもの経験に繋がるよう、外出活動を実施している。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・個々の段階や課題に応じて、個別活動、集団活動を組み合わせる計画となるよう配慮している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・支援開始前に活動の目的や内容について周知し、共通理解の上で活動を実施できるようにしている。	・活動案や目的等の周知が当日の朝になってしまいうことがあため、早めに周知を行うようにしていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・支援終了後、支援内容や子どもの行動、課題等、職員間で気付いた点や改善点について共有し合っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・子どもの様子や課題、活動の目的に対する反省等、日々の記録をとることを徹底し、気付いた点や改善点についてケース検討やミーティングを実施している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・児童発達支援計画作成時期に合わせてモニタリングを実施し、見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・子どもの状況に合わせて、児童発達支援管理責任者や子ども担当職員を参画させ、事業所での様子や課題、目標等について説明している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・子どもに合ったかわり方、情報共有ができるよう、連絡会で情報交換を行ったり、必要に応じて連絡を取り合い、連携を図っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・保護者に同意をいただき、保育所や幼稚園、認定こども園と児童発達支援計画を共有したり情報交換を行ったりすることで、子どもの課題や目標の把握、統一したかわり方ができるようにしている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・連絡会や移行支援シートを活用し、支援内容や子どもの様子について情報共有を行い、安心して就学できるよう努めている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	○		・地区連絡会の中で情報交換を行い、事業所の取り組み、子どもとのかかわり方等についてやり取りを行う機会を設けている。	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	・今年度は交流の機会が少なかった。	・今後は交流したり、活動を共有したりする場を設けていく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・コトモンや送迎時、面談の機会を通して、子どもの様子や課題、目標等について細目に伝え合っている。必要であれば写真を添付する等してより具体的に子どもの様子が伝わるようにしている。 ・ファミリーサロンや茶話会の機会を通して、子どもの様子や支援内容、課題についての情報交換や共有を行っている。	・子どもの成長や様子、課題について直接伝える機会を十分に設けていく。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・外部講師を招いての講習会を実施する中で、子どもとのかかわり方や幼児期に必要な遊びや動き、声掛け等、特性の理解や学びにつながる場を設けている。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・見学時や契約時に活動内容や利用者負担額について説明を行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・アセスメントの際に保護者のニーズや子どもの様子を細かく聞き取る中で意向を確認し、児童発達支援計画に反映するようにしている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		・保護者へ説明を行い、同意を得た上で支援を実施している。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・保護者からの悩みや相談に対し、面談を実施したり行事の際に情報交換を行ったりし、その都度助言や支援を行っている。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・保護者会や行事を開催することができた。 ・就学前の子どもの保護者同士で話す場を設けた。	・保護者同士の連携、情報交換につながる場を全グループ設けていく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・相談があった際は、迅速かつ適切に内容について検討し、対応、周知できるよう心掛けている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・毎月の活動予定表を作成し、活動内容や行事、お知らせ等を発信している。	・Instagramの投稿が少なかったため、今後は投稿回数を増やしていく。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・個人情報の取り扱いについては、十分に配慮を行っている。 ・ホームページ、Instagram、パンフレットへの記載については、同意を得た方のみ記載をしている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・意思の疎通や情報伝達のため、視覚的に伝える等、より伝わりやすくなるよう配慮しながら伝達している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・法人イベントを開催し、地域住民を招待する機会を設けた。	・今後も地域に開かれた事業運営を図っていく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・各種マニュアルを策定している。 ・火災や地震、自然災害等の場面を想定した訓練を実施し、訓練時の子どもの様子について保護者に伝えていく。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・BCPを策定し、消防署立ち会い訓練を年2回、自主訓練を年2回、計年4回実施している。訓練後、反省、改善点について話し合い、発生時に迅速に対応できるように努めている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・服薬についてはコドモンにて確認を行い、予防接種やてんかん発作等の状況については保護者に確認後、周知を行っている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・保護者へ、医師からの指示を確認し、除去食等の対応を行っている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全計画を作成し、研修や訓練を実施している。また、実施後は改善点について話し合い、安全管理に努めている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・子どもが安全に過ごすことができるよう、保護者会等で周知を行っている。	・安全計画について周知のみではなく、保護者が来館時に閲覧できるよう掲示も検討する。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・ヒヤリハット報告書を作成、改善点についてケース検討を実施、共有している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・外部講師を招いて事業所内での研修を実施し、虐待防止、早期発見等の対応に取り組んでいる。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・身体拘束については行っていないが、身体拘束についてのマニュアルを策定し、体制を整えている。	